

中部標準化懇話会 2024年度 第2回事業所見学会 見学録

開催日：2025年2月6、7日

見学先：6日 オカムラ富士事業所

7日 アサヒ飲料富士山工場

静岡県富士山世界遺産センター

参加者：9名

作成者：見学会 幹事 近藤 覚

オカムラ富士事業所

事業のご説明

オカムラ富士事業所は1970年に設立された。オカムラは1945年に横浜市で創業し、家庭用厨房品の製造からスタートした。その後、事業を拡大し、オフィス家具や物流システムなど多岐にわたる製品を提供している。

システムショールーム

富士事業所内には「LUX 物流システムショールーム」があり、最新の物流システムが展示されていた。見学者は、物流の滑らかで迅速な流れを体験することができ、オカムラの先進的な技術を実感することができた。

また、設計室の見学ではフリーアドレスの業務有効性の説明もあった。

工場見学

富士事業所では、店舗用陳列棚、オフィス用パーティション、物流システム用の搬送用コンベヤや自動倉庫など、幅広い製品が製造されている。最新の自動化技術を導入し、金属材料の成形、熱処理、塗装を効率的かつ高品質な生産を実現していた。



アサヒ飲料富士山工場

事業のご説明

アサヒ飲料富士山工場は、富士山の玄武岩を浸透したミネラル豊富な天然水を使用し、豊かな自然環境と共生した最新の飲料製造設備で、美味しさと健康を届ける工場です。アサヒ飲料は、1982年に「アサヒおいしい水」を発売し、その後も多くの飲料製品を展開されており、富士山工場は、これらの製品の製造拠点として重要な役割を果たしていると説明があった。

生産工場

富士山工場では、「アサヒおいしい水」や「アサヒ十六茶」などの製品が主力として製造されているが、見学ではウイルキンソン炭酸水の生産を見ることが出来た。工場内には最新の無菌充填設備やPETボトル内製設備が導入されており、1分間に600本（1日で23万ケース）の日本トップクラスのスピードで製造が行われていた。2階のガラス越しに製造工程を見学し、整然と配置された設備の美しさに感動した。



静岡県富士山世界遺産センター

センター内には、富士山の歴史や文化、自然を多角的に紹介する展示が充実していた。特に、1階から5階まで続くらせんスロープを登りながらの展示物の鑑賞は、擬似登山を体験するものであった。最上階のホールや屋外テラスからは、周辺の構造物に遮られない富士山の眺望を楽しんだ。



2日間の見学会は好天に恵まれ、澄み切った空に気高くそびえた富士山に見守られた心地よいものであった。参加者は異業種の事業に触れることで多くの気づきを得たようであった